



## 教室を彩るシクラメンに素敵なネーミング

先日、教頭先生と校務員さんがシクラメンを9つ買ってきてくれました。但馬農業高等学校の生徒さんが心を込めて育てたシクラメンです。どれも個性的で、色鮮やかで、目を楽しませてくれます。

早速、学級代表を集めて「ジャンケン大会」(どの花にするかを決めるジャンケン)を行いました。その数日後、ある学級のシクラメンに学級投票で名前が付けられたとの報告を受けました。左が「ソラタ」(3年2組)、右が「マリオ」(学習室1)だそうです。

花も素敵ですが、ポットの花に名前を付けて、愛でる心もまた素敵だと思いませんか。これから春先までの間、教室を彩るシクラメンの花を通して、「ほっと心安らく優しい気持ち」が芽生えてくれることを願っています。



## 「先輩と考える私達の未来」 中学1年生講座

12月9日(火) 3校時



### ■講話① 京都大学名誉教授 中尾 一和 氏

大屋町ご出身の中尾氏は、子どもの頃、運動が好きな少年であったとか。中学校時代に陸上競技大会に出場された時のことや、八鹿高校時代の思い出などを写真とともに紹介してくださいました。都市部の進学校に比べると、田舎の高校での学びはゆっくりリスタートであるものの、本気になって学業に打ち込めば必ず結果が出る、とお話されました。

京都大学医学部卒業後は臨床医として研究に専念され、多くの研究発表をされました。その活躍が世界的な評価を受け、名誉ある賞を多数受賞されています。「信念を貫くことの大切さ」や、「身近な事象に関心を持ち、探究し続けることの大切さ」が伝わってくるご講話でした。

### ■講話② 京都教育大学教育学部名誉教授 村上 忠幸 氏

村上氏は、市内の小中学生の間で「アゲハチョウの先生」として知られており、啓林館の理科の教科書編集に携わっておられます。「アゲハチョウの雌が間違えずにミカンの葉に卵を産むのはなぜか」という質問から始まり、オランダの教育と日本の教育の違いについて話をされました。毎年1回以上オランダを訪問されている村上氏は、オランダの小学校の教室風景や学ぶ様子を写真で多数紹介してくださいました。お話の中で、日本が得意とする「教科書のある学び」=教えられる学びも大切であるが、「教科書のない学び」=自分で考えてする学びも重要であることを伝えられました。「知識・理解」と、「自ら学ぶ態度」の両方が大切であることが伝わるご講話でした。

■近畿インドアテニス大会 12月27日(土) 小林朋弘・吉井怜生ペア

■アンサンブルコンテスト但馬地区大会 12月27日(土) 打楽器五重奏、管楽八重奏

■県中総体スキー大会 1月12日(月)~14日(水) GS、GSLに出場予定

※JOCジュニアオリンピックカップ 第39回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 12月25日(木)  
 3年津中ころさんが兵庫県選抜チームのメンバーとして出場。皆さんの健闘を祈ります。

**冬も休まず 活躍する子ども達に 温かいご声援を！！**

12月1日(月)に告示、5日(金)に公示された「生徒会役員選挙」に、今年は生徒会長2名、副会長男女各2名、計6名の立候補がありました。およそ一週間の選挙活動期間を経て開催された「生徒会立会演説会」では、立候補者および応援者による熱弁が繰り広げられました。

まず驚いたのは、演説を聴く全校生の真剣な表情でした。一人一人の演説にしっかり耳を傾け、投票に臨む態度からは、生徒会の一員としての強い自覚が感じられました。また、工夫を凝らしたスピーチで立候補者をPRする応援者からも、立候補者本人からも、「自分たちの生徒会をより良いものにしていきたい」「伝統を引き継ぎながら新しい生徒会、みんなが楽しく幸せになれる学校を創っていきたい」という熱い思いが伝わってきました。専門部長を含めた新役員の任命式は、3学期の始業式後に行います。

## 生徒会のバトンパス！ 新リーダー誕生のとき



## 「夢」をかたちに 3年美術 12月17日(水) 3・4校時

学校だより第12号で紹介した「DREAMプロジェクト」が、いよいよプレゼン本番を迎えました。市内の洋菓子店カタシマ(株)のパティシエである足立さんと、常務取締役・ソムリエの廣氏さんを審査員にお迎えし、合評会を行いました。自分が描く夢のイメージを、①デザイン画 ②レプリカに表現し、③プレゼン資料にまとめ発表しました。デザインに込めた思いや自分の夢について語る子ども達の目は、キラキラと輝いていました。卒業を間近に控えた3年生の子ども達にとって、忘れられない思い出となることでしょう。審査の結果、最優秀賞に選ばれた作品は、試作・試食を経て、3月上旬頃に養父本店で販売される予定です。

夢のかたち……風船、宝石箱、贈り物、はしご、鳥の羽、山、積み重ね、空、宇宙、甘酸っぱさ 等



この授業を通して、子ども達は、「夢をもち、挑戦し続けることの大切さ」や「人それぞれの生き方・感じ方があること」を実感できたようです。未来への一歩を踏み出す自信と夢を表現する貴重な機会を与えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。